

「東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）改定案」に寄せられた御意見と旭川市の考え方

○意見募集期間 令和7年5月15日（木）から令和7年6月16日（月）まで

○意見提出数 5件（個人4人・5件 団体0件）

※御意見につきましては、原則、原文のとおりとしておりますが、一部読みやすくするために要約・修正を行っています。

※匿名により提出者を特定できない御意見については、計上・公表・回答の対象としておりません。

No.	寄せられた御意見	意見に対する市の考え方
1	東光スポーツ公園の全ての屋内ドームの屋根付きにして欲しい。通年の雨の日や雪の日でも試合が出来る。	複合体育施設以外の東光スポーツ公園への御意見につきましては、関係部局と共有させていただきます。
2	・観客席は、競技実績等から約10,000席を確保する。 ・大成市民体育センターの総合体育館のアリーナ席を2,000席にして欲しい。	・観客席につきましては、競技実績や道内他都市の体育館の整備状況等を参考に約2,000席を確保することとしております。なお、花咲スポーツ公園に計画している新アリーナにおいては、観客席を5,000席確保することとしております。 ・大成市民センターへの御意見につきましては、今後の事業等を検討する際の参考とさせていただきます。
3	いわば、現在の総合体育館の役割を今回の東光スポーツ公園の複合体育施設が担うというのがこの改定案ですが、今回の案を見る限りは平成11年度の基本計画以降凍結しているプールやアリーナに関しては、建設用地に余裕があるものの、防災面からの用地の必要性を考えると、凍結ではなく断念という形が良いと思います。 また、今後の施設集約の際にも、今回の東光の施設が生きてくると思います。	・基本計画改定案では、プール及びアリーナについては、複合体育施設には含まないものとして整理を行っております。いただいた御意見につきましては、公園全体の基本計画の見直しをする際には参考とさせていただきます。 ・御意見のとおり、複合体育施設は将来的なスポーツ施設のストック適正化に際して中心的な役割を担うことを想定しています。

4	旭川市には素晴らしい自然や公園がありますが、雨の日や冬季でも安心して子供（特に幼児や小学生）が遊べる屋内施設がまだ不足していると感じています。特に以下のような施設の充実を希望します。 【具体的な要望】 1. 大型屋内遊具施設の整備 ボールプールやトランポリン、滑り台、登って遊べる遊具など、幼児から小学生までが身体を動かして遊べる施設がもっと必要だと思います。冬でも安心して遊べる場所があれば、子育て家庭にとって大きな助けになります。 2. 低年齢向けの安全なスペース 赤ちゃんや幼児専用の安全なゾーンがあると安心です。例えば、柔らかい床材を使ったスペースや、小さな子ども向けの知育おもちゃなどの導入を検討いただければと思います。 3. 児童館の機能強化・地域ごとの設置 既存の児童館に遊具や読書コーナー、ワークスペースなどを充実させたり、市内各地域にバランスよく配置することで、どの家庭でも気軽に利用できる環境が整うと感じます。 4. 季節を問わず利用できる遊び場 旭川は冬が長いため、季節に左右されずに体を動かせる施設はとても重要です。スポーツ施設や遊び場が一体になった「全天候型の子供向け施設」があれば、子育ての選択肢が広がります。 【期待する効果】	【具体的な要望】 1 大型屋内遊具施設につきましては、東光スポーツ公園の計画の中にはありませんが、御意見の内容につきましては、関係部局と共有させていただきます。 2、4 基本計画改定案では、幼児が自由に体を動かせるスペースとして、総合体育館と同程度の大きさの幼児室の整備を想定しております。備品等につきましては、今後の施設の設計等で整理してまいります。 3 いただいた御意見につきましては、関係部局と共有させていただきます。
---	---	---

	・子育て世帯の満足度向上 ・屋内で安全に遊べることで事故やケガのリスク軽減 ・旭川市の子育て支援への信頼感の向上 ・他市町村からの移住・定住促進 以上、よろしくお願いします。	
5	屋内についての意見送らせていただきましたが、屋外施設についての意見についても以下に送ります。 旭川市内には多くの公園が整備されていますが、水遊び場のない公園が多数あり、特に幼児や小学生が夏季に安全に遊べる「水遊び設備」の不足が見受けられます。 東光スポーツ公園に当たっては、広さがありません。近隣に子育て世帯が多く、夏には公園を訪れる親子が多いため、水遊び設備を整備していただけると非常にありがたいです。 暑さが厳しくなる中、こうした場所にじゃぶじゃぶ池や噴水広場などの水遊び場を設置・改修していただきたいと考えています。 また、その整備にあたっては、平常時は子どもの遊び場として、災害時には地域の生活支援や給水機能を担う防災拠点としての役割も持たせることで、市民にとって有益な多機能型の公共空間となると考えます。 【具体的な要望】 1. 既存の水遊び場がない公園への整備 公園の一角に浅い水深（10～30cm）の「じゃぶじゃぶ池」や「噴水広場」を設けてほしいです。 床材は滑りにくく、安全性を高めた設計にしていきたいです。	東光スポーツ公園につきましては、令和6年度に中央広場において、こども達が遊ぶことのできる親水施設を整備し、本年8月から供用を開始する予定としております。 【具体的な要望及びまとめ】 いただいた御意見につきましては、関係部局と共有させていただきます。 なお、東光スポーツ公園につきましては、防災公園として整備を進めており、水辺は手足の冷却などの避難者保護に役立つことから、避難時に使用することを想定しております。また、防災知識の普及啓発も重要な要素と認識しておりますので、御意見の内容につきましては、関係部局と共有させていただきます。

	周囲には日よけ設備やベンチ、保護者が見守れる木陰や休憩所も併設していただくと安心です。 2. 防災機能を兼ね備えた設計 水遊び用の設備に、非常時には生活用水や洗浄水として再利用可能な機能を備え、非常用電源設備やソーラー照明、防災情報掲示板などを整備して、災害時にも活用できるようにしていただきたいです。 3. 地域と連携したイベントの充実 水遊び場の開設に合わせて、「親子で学べる防災体験イベント」（簡易給水体験、防災クイズなど）を開催することも地域の防災意識向上に役立つと考えます 【期待される効果】 暑い季節の熱中症対策と遊び場の確保 子育て世帯の定住促進や地域活性化 災害時の生活支援（給水・情報共有）拠点としての活用 子供の健全な育成と同時に、日常的な防災意識の醸成 【まとめ】 遊び場としての公園に水と防災の機能を融合させることで、「楽しさ」と「安心」を兼ね備えたまちづくりが可能となります。既存の設備の有効活用を図りながら、子育てと防災の両面から市民生活を支える公園整備をぜひご検討ください。 よろしくお願いいたします。	
--	---	--